

① 訪へ解産手當、争議員用ノ件ニテ交渉
② 三月二十五日、交渉ニ依リ其ノ不正ヲ摘発セリ、
テ以前ニ比シモ意氣昂ニス

一、店主側

(1) 三月二十二日讀賣新聞長島縣發士前記、訪へ解決方ヲ一任
(2) 二十五日、協定破棄アリ、改メテ終令ノ同情金ニテ解
産手當、宿料等ハ店主側ニ於テ交渉ヲ為スノ計焉、樹テ救賣
前長益讀賣會ト熟議中
交渉状況

(1) 三月二十二日店主ハ東横中ノ湯島出張所主任山名文雄ヲシ
テ等議團本部ニ赴カシメ解産手當、等議費用ノ類ハ支給セ
ルニ帰屬其他ニテ窮スノ場合ハ若干ノ補助ヲ為ス旨ヲ通告
② 三月二十五日午前九時半ヨリ等議團全員ハ店主ヲ訪問セリ
ニ大澤岡新本部員アリシヲ組合代表ノ不在ヲ否ハシテ會見

ヲ拒ミ結局は業員三六名代表トシテ會見解産手當一八三
円等議費用六十円白山鐵止宿一切ノ費用ヲ要求セリ、拒絶
ナレ個人交渉ヲ試ミタレニ店主ハ一人當一金十円ノ同情金
ヲ言明セリ為意外ノ憤慨ヲ買ヒ決裂

(3) 三月二十五日駒込署ニ於テハ勞資双方ヲ招致シ店主側葛西
整(店主)は業員側石馬正三郎外六名(は業員)ラシテ協定ニ
シテは書員ノ絶状及誓約書ヲ入レ白山鐵ノ支拂百二十六円
ヲ支拂ヒ且二名ノ解産者ニ計五十四ノ同情金ヲ支給スレニ
トニ決定セシカ其際契約ニ基テは書員ノ不正受領証ヲ用ヒ
得意先ヨリ集金費消セレニト、有無ヲ調査シ若シ之レ有り
トハハ協定不成止ナリト停止條件ヲ致主シタレニ果シテ藉
算、若果は書員ノ不正受領シタレハ亦協定ハ破棄セラレ

以上